

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

9

2010 No.672

目 次

3 はじめの言葉

4 論点を探る 情報処理能力のお粗末さと

解ったつもりが招く大きなリスク

田原文夫

昨今の情報処理分野での最大の話題はクラウドシステムと BI (ビジネスインテリジェンス) である。クラウドシステムは業界ベンダーが何とかしてユーザー組織に押しつけようとする「ハコモノ商品」から、深くはユーザー組織の将来的命運がかかっている慎重な運用論まで含む。一方の BI も、ベンダーのハコモノビジネスから活用サポートサービスまで幅が広い。いずれにせよ、ユーザー側の情報処理能力が試されるテーマである。ユーザーの「知ったかぶり、解ったつもり」が大きなリスクを孕むことになる。

1 2 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 1 2 回 ユビキタス社会で価値を持つ一期一会 根本忠明

ユビキタス社会の到来を告げる声が出て 10 年。着実かつ確実に、本格的なユビキタス社会へと移行している。その有様は、どこでもネットに接続できるインフラ整備とモバイル機器の普及、それに伴う、溢れんばかりの情報氾濫に象徴される。皮肉なことに、これがデジタル・コンテンツの価値を、極限にまで押し下げている。ユビキタス社会にふさわしい新しいデジタル・コンテンツの創造と、その価値を復権させる挑戦が、スタートしている。

1 7 クラウド時代のシステム運営 どこまで雲を信じるか

まさかに備える DB テクノロジー

雲隠才蔵

クラウドコンピューティング時代の情報システム運営

「見える化」と称して、ユーザー企業としてはいちいち詳細など知りたくもない基本ソフトウェアの中味を説明していると思いきや、いつの間にか、巨大なシステムリソースの固まりを「クラウド」という大きな雲として信じろと言いつけている。「知らしむべし」が一転して「知らしむべからず」に大豹変。一気に「見えない化」サービスの提案だ。その正体は雲に隠れている。いかなる知恵／才を内蔵している高度なサービスかは知らないが、ユーザー組織としては、まさかの時の備えをした上で活用するしかない。まずはユーザー組織にとって一番の財産であるデータベースのリカバリーの備えから考えてみる。

2 8 続インテリジェンスへのいざない ⑨

職業喪失のリスクと回避する人材力

今井 武

コスト削減のターゲットになる人々

学生など若い世代の就職難が象徴するものは何か。企業が今、コスト削減の対象／ターゲットにしているのはどういう人材か。企業が労働対価を支払いたくないのはどういう仕事か。企業が忌み嫌う「進歩しない人材」とは。職業を失うリスクを回避するにはどうしたらよいか、何が必要か。

3 1 人材紹介業界の秘話と悲話

第一話 衣食足りて礼節を知る

Dr.ベスト

ユーザー組織には、どこでもそれなりの人材管理費用が準備されている。その年間費用には通常、自社の要員／人材を自前で教育養成する費用と、外部からの助っ人を調達する費用が含まれている。日進月歩の情報システム技術分野で、すべての人材を自社要員で賄うことは不可能だ。そこでアウトソーシング、外部への助っ人要請で対処となる。そうしたユーザー組織の期待に応える業界は今、どういう状況にあるだろうか。

3 5 情報管理技術者／セキュリティ管理技術者認定

3 7 一味違うウェブ検索

第二話 まずは事典・辞書サイトへアクセス ぐうのうえぶへい

検索の妙手はどこにあるか。まずは、オンライン統合事典サイトを、徹底的に使いこなすことである。この種のサイトを、目的にあわせて使い分けることが、他人との差別化の鍵となる。

3 9 パワ四 (パワフル四文字熟語) 最終回

4 0 新連載 ことわざ笑タイム

すぎやまちヒロ

4 4 aism ネットクラブ

有料の市販セキュリティソフトは必要ないかも

aism

無料の標準セキュリティ製品で可能な対策

何もかもが日進月歩である。今買ったモノが、すぐに後発製品に追い越されてしまう。こうなると買い控えをしていた方がいいのではないか、ついそう思ってしまう。セキュリティ対策製品についても例外ではない。聞くとところによると、マイクロソフト社製の標準品 Security Essentials でかなりのところまで実現できるというのではないか。さっそく aism 談義が始まった。

4 8 Greylisting 方式による SPAM／迷惑メール対策

編集部

今注目の Greylisting

必需品となった電子メールシステム。「現在の基幹システムのひとつ」だと表現する人もいる。それが相変わらず SPAM／迷惑メールによって妨害を受けている。実に不愉快、何ともやり切れない限りである。何か妙手はないのか。今注目のテクニックを追ってみた。

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版

データ・ウェアハウス

定価 本体 2,810円＋税 送料(〒300)
A5版 289頁

石井義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EUCが必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルと本ステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 OoD博士によるOLAPプロダクトの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意思決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告

インターネットセキュリティの 落とし穴

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシナリ研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM/LEZの経緯と現状
第二章 aism情報セキュリティ・マシナリ研究会の発足	第十二章 メールが漏れない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 住基ネット運用のための情報オナーの権限
第四章 従来を駆けめくったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャル・プライベート・ネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2002年度の事業計画	第十八章 セットアップ作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発見と課題	
第十章 インターネット関連の脅威と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書!

トップ主導の 情報システム革新

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 271頁

高田 顕重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム革新
第二章 経営戦略と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法 —オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 212頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の原理と付録・電子計算機の高速化と計算方法	第八章 スパース

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ! といふときの(得)広報』 すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円＋税 送料(〒300)
A5版 288頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 発表文も企業体質
■ ニュースリリースは東京方向優先	■ 守るも破るも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記者と向き合う16人の鉄則(家とめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク

がんばれ、国産グローバルサーバー
IBM社に挑んだ国産情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円＋税 送料(〒300)
A5版 260頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開発手段の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム最後の危機
第三章 新しいシステムへの動き	第十三章 新たな助っ人
第四章 WDCに向けて	第十四章 米軍事務所移転と新たな頼み
第五章 FJIC、IBM競争	第十五章 開発フル登場と「トクナツチ」
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番最終日程
第八章 米軍チーム立ち上がりへの進め	第十八章 国産システムとデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 最終その一 直前、最終、直後の授け
第十章 米軍チーム、敵となる三人組	第二十章 最終その二 安定稼働と米軍センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp